

■夢の実現へリニア中央新幹線③⑤
市民とともにリニアのまちづくり⑤
第3回ビジョン策定委員会とアンケート調査結果について

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。今月は、第3回リニアのまちづくりビジョン策定委員会（以下策定委員会）の開催状況と9月に実施されたアンケート調査の集計結果についてお伝えします。

問 リニア推進課（☎内線324）

第3回ビジョン策定委員会

第3回策定委員会が11月5日（月）、健康福祉会館多目的ホールで開催され、次のとおり報告および審議が行われました。

■報告事項

- (1) 第2回策定委員会での意見と対応について
- 第2回委員会では出された意見に対する対応について説明。
- (2) アンケート調査の集計結果について

9月に実施した市民アンケート、企業アンケート結果の報告。（結果は次頁参照）

- (3) 各委員会での検討状況について

- ① 策定委員会幹事会（部会）

部会設置後、3回にわたり検討を進めてきた分野ごとの取り組みの方向などを報告。



策定委員会の様子

- ② 女性・若者委員会

ワークショップ形式でアイデアを出し合いながら検討を進めてきた内容の中間報告。これらのアイデアを基に、女性・若者ならではの視点、こだわりについて意見をまとめ、次の策定委員会に提案していくことを報告。

- ③ 地域委員会・各地域協議会

各地域協議会など（15地域）で、現在、取りまとめ作業を進めている地域計画書の中間報告。今後、これらを取りまとめ、地域委員会で集約、次の策定委員会に提案していくことを報告。

■審議事項

- (1) ビジョン構成案について

ビジョンを市民の皆さんに分かりやすいものとしていくため、素案を

組み立てる前に議論しておく必要があります。このため、これまでの各委員会における検討結果を踏まえ、事務局から構成案を提示し、審議いただきました。

承認された構成案

- ① ビジョン策定の趣旨、目標年次
- ② リニア中央新幹線の概要と経緯
- ③ リニア開業による波及効果
- ④ めざすまちづくりの方向
- ⑤ 市民の皆さんが取り組んでいくこと
- ⑥ 広域アクセスや新駅の周辺整備などの地域整備のイメージ
- ⑦ 今後の取り組みの工程

④のめざすまちづくりの方向では、リニア時代を見据えた中津川市のまちづくりの基本理念を掲げるほか、リニア開業により大きく変わる中津川市の立ち位置（名古屋都市圏や首都圏、大阪都市圏との関係）を踏まえたまちづくりの目標、交流促進と定住促進の二つの柱からなる戦略、市内各地域におけるまちづくりの方向などを記述していきます。

また、⑤の市民の皆さんが取り組んでいくことでは、産業や暮らしなどの分野別、地域別などで具体的な取り組みをまとめていくとともに重点的なプロジェクトを位置づけていくことも考えています。

- (2) 今後の進め方について

今後、ビジョンの素案作成に着手し、委員会や市民の皆さんのご意見

を伺いながら来年8月頃に取りまとめる予定です。（表1参照）

（表1）
ビジョン策定スケジュール

H24 12月	ビジョン素案づくり着手
H25 2月	素案とりまとめ ・各委員会へ提示→検討（修正）
5月	最終案取りまとめ ・各委員会へ提示→検討 ・パブリックコメントの実施
8月	ビジョン完成

- (3) 整備イメージ（案）叩き台（地元協議会用資料）について

岐阜県が「岐阜県リニア活用戦略（一次案）」でアクセス道路や駅前整備に関する方向を取りまとめる予定であることから、そこに地元の意見を反映していただくため、地元協議の叩き台として整理した資料を提示しました。（駅やルートなどの詳細位置が未公表の段階であるため、資料はあくまでイメージとして整理したものです）

現在、この資料により坂本地域リニア中央新幹線対策協議会で議論を進めていただいています。

※策定委員会の開催状況や会議資料は、市HPでご覧になれます。

また、次回策定委員会は、2月18日（月）午後2時から、健康福祉会館4階多目的ホールで開催の予定です。

リニアを活かしたまちづくりに向けた 市民・企業アンケート調査の結果

「中津川市リニアのまちづくりビジョン」策定に活用させていただくため、リニア中央新幹線への関心、リニアのまちづくりに関すること、市内の交流状況などを市民の皆さんや市内事業所を対象に実施した市民アンケートおよび企業アンケート調査の結果（速報値）の一部を抜粋して報告します。

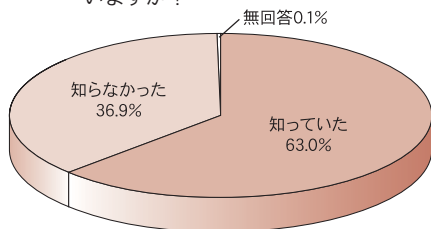
市民アンケート結果

市内にリニア駅および車両基地が設置されることの認知度を尋ねる質問については、

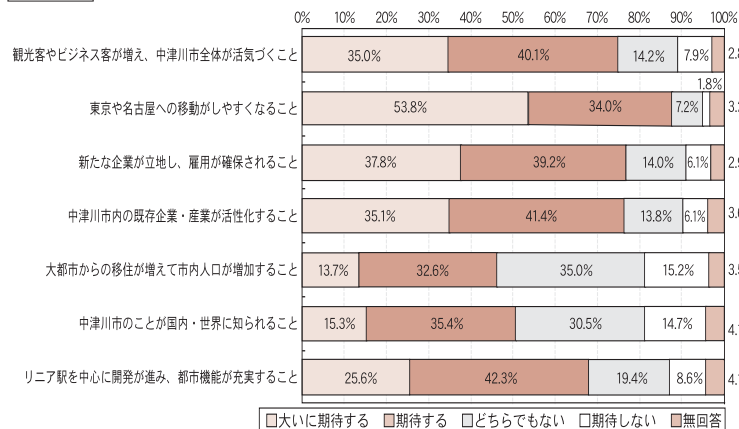
- ・「知っていた」 95・5%
 - ・「知らなかった」 3・0%
- となり、駅や車両基地が設置されることは、ほとんどの方が知っているようです。

次に、リニア開業により、当市から東京まで約50分、名古屋まで約10分で行けることに、認知度について、グラフ1のとおりで、前問より認知度は少し低く

グラフ1 東京や名古屋までの移動時間を知っていますか？

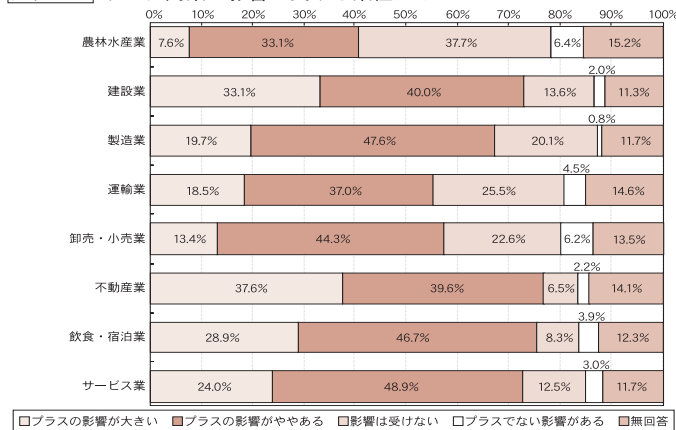


グラフ2 リニア開業で期待することは？



- ・「大いに期待する」 53・8%
- ・「期待する」 34・0%
- （合計87・8%）となり、最も期待が高く、次いで「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」に、
- ・「大いに期待する」 37・8%
- ・「期待する」 39・2%

グラフ3 リニア開業で影響を受ける業種は？



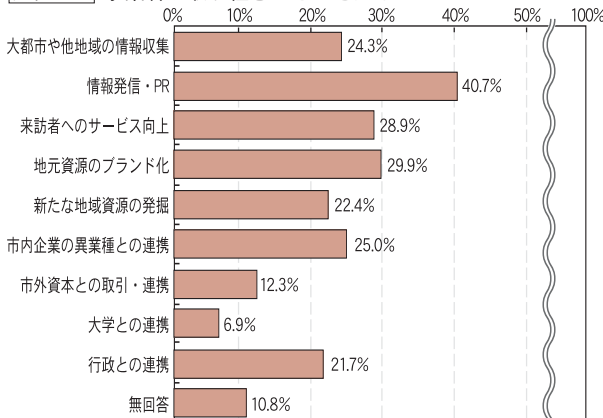
- ・「大いに期待している」 21・0%
 - ・「期待している」 33・2%
- 市内にリニア駅と車両基地ができることの期待度については、

企業アンケート結果

（合計77・0%）となりました。一方、最も多く「期待しない」とされたのは「大都市から移住者が増えて市内人口が増加すること」でした。（グラフ2参照）

リニア開業の効果を最大限活かすために事業者自らが進めるべき取り組みとしては、「情報発信・PR」「地元資源のブランド化」「来訪者へのサービス向上」が上位にあげられました。（グラフ4参照）

グラフ4 事業者が取り組むべきことは？



市民アンケートは、市内在住の15歳以上の男女を15地区ごとに年齢層（7区分）で抽出し、2千人に配布、886人から回答をいただきました。（回収率44・3%）

企業アンケートは、2千917社に配布、1千115社から回答をいただきました。（回収率38・2%）

アンケートにご協力いただきました皆さん、誠にありがとうございました。

アンケートの詳細は、市ホームページでご覧いただけます。